

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9057		事務事業名称	下水道使用料徴収費					短縮コード	経常		臨時	9057	
予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	04	業務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市水道事業管理者に事務を委任する規則、八千代市下水道条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・使用料の徴収事務は昭和43年10月から開始。52年から民間委託。58年度から水道局に徴収事務委任。平成2年から委任形態。平成20年度から水道料金と共同事業になる。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
処理人口の増加で調定件数も増加してきたが、今後は大幅な増加は見込めない。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目		01	下水道					
						小項目（施策）		03	維持管理の充実					
						細 項 目		01	下水道施設の維持管理					
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	下水道使用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 水道事業への業務委任により水道料金と同時に徴収する・							
	※平成20年度に計画していること： 排水量の認定（検針）、使用料の徴収等の委託 平成20年度から公営企業法にて全部適用する							
意図 （何を狙っているのか）	徴収費の縮減と収納率の向上							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	委託金額	円	130,641,334	102,943,000	99,420,063		
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	調定（検針）件数	件	431,569	431,422	436,340		
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	委託単価	円／件	292	217	217		
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9057	事務事業名称	下水道使用料徴収費			所属名	給排水相談課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	130,976	103,028	99,591		
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			使用料徴収事務委託費 130,642千円	使用料徴収事務委託費 102,943千円	使用料徴収事務委託費 99,421千円	下水道使用料徴収費と下水道使用料等過誤納還付金に分離	
	人件費(B)			千円	21,868.1	21,281.2	5,382.9	0
トータルコスト(A)+(B)			千円		152,844.1	124,309.2	104,973.9	0

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	下水道使用料の収納率を向上させ、安定した歳入を確保する事は上位施策の推進につながる。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	毎年継続する事業であり未納が有る限り目的は達成しない				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	公共事業であり民営化に向かない				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	下水道使用者が対象で、意図は経費の節減と収納率の向上である。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	収納窓口の拡大に向けて、検討を進める。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				2		実施主体 (所管部署)		
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☒ ない					

コード	9057	事務事業名称	下水道使用料徴収費				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		19年度に長期継続契約を結び20年度より経費の節減と事務の簡素化を図った。 契約内容を見直し、窓口の拡大について検討する。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			長期継続契約を結ぶことにより、経費の節減と事務の簡素化を図った。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
使用料徴収費の圧縮は料金改定時に値上げ幅の減少につながることから審議会や議会、監査等でも質問が多い。	

所属長コメント	下水道使用料と水道料金を同じ班内で処理できるため、より事務の効率化を図り、経費低減に努めたい。 収納窓口の拡大を検討し、収納率の向上を図る。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	